



三崎 和雄

1976年 4月25日生まれ

千葉県小見川町出身、東京学館高等学校卒業

2000年 全日本異種格闘技大会 優勝

2001年 パンクラスネオブラットトーナメント 優勝

2006年 PRIDEウェルター級グランプリ 王者

強靱な肉体と精神力、そして優しさを兼ね備えた男、三崎和雄。彼の見た数々の名勝負は「死闘」という言葉が最もふさわしい。三崎の戦いは、見る者の心を激しく揺さぶり、彼は多くの感動とメッセージを届け続けてきた。現在は自らの道場で指導にあたり、「武士道」を伝える現代の「侍」である。

小見川中学校、東京学館高校と柔道を学び高校時代には71キロ級で県大会優勝など好成績を残す。高校卒業後、総合格闘家を目指し香取道場で研鑽を積みプロデビュー。数々の激戦を経て、爆発的人気を誇った総合格闘技イベント「PRIDE」に参戦、世界のトップ選手を相手にしのぎを削る。2006年には日本人として初めて、強豪ダン・ヘンダーソンを下し、PRIDEウェルター級グランプリを制覇。2007年大晦日には秋山成勲と歴史に残る激闘を展開し勝利を挙げる。2012年12月22日、聖地 後楽園ホールにて、盟友 郷野聡寛とエキシビジョンマッチを行い、試合後、リング上で親友 長渕剛が名曲「Stay Dream」を熱唱し、12年間死闘を繰り広げてきた三崎和雄に労いの言葉をかけ、現役生活にピリオドをうった。



数々の激闘の中で見せた、三崎の「不屈の闘志」。その強靱な精神力の源は、幼い頃から修練した柔道、武道から学んだ「武士道」にある。三崎は2012年3月、地元である香取市に「香取道場」を設立。自ら真っ白な道着に袖を通し武道の指導者として、大人から子供まで、100人余りの道場生に熱心な指導にあたる。特に子供達の指導には力を注ぎ、「武士道」に基づいた教育こそが現代日本の子供達に最も必要な教育だと考えている。武道を通じ心身を鍛え、自らが痛みを知ること、周囲を敬うことのできる「心」「優しさ」を形成したいと願う。



三崎は道場での指導の他にも、様々な形で子供達と触れ合うための計画を立てている。

農業を通じて自然の恵み、理を感じ、学び取る事ができるとの考えから「武道と農業」をテーマに子供達と一緒に畑を耕し野菜を収穫するなどの計画を構想中である。

また「武道家」「スポーツ選手」として、講演活動や護身術のセミナーなども行い、彼のメッセージ、「武士道」を発信し続けている。